

起業家の創出と人材育成・新規事業の支援

「起業家の創出と人材育成・新規事業の支援」にとりくむ意義

- ・企業数の増加することで、市場の規模が大きくなり経済が活性化する。
- ・時代の変化に合った、新しいマーケットが想像されることで、新たな流通が生まれる。
- ・新しく生まれた企業の成長により、経済が循環し、雇用が生まれる。
- ・停滞している産業構造に新陳代謝を促すことができる。

現状と課題

- ・開業率より廃業率の方が高い状態が20年以上継続しており、事業所数が減少の一途をたどっている。
- ・起業に対しての支援や情報が十分に理解されていないことから、起業に対して敷居が高く感じる人が多い。創業が増えない。
- ・十分な事業計画や事業の運営がされず、開業しても事業が続かない。
- ・雇用の受け皿としての選択肢として起業が機能していない。

施策の方針(基本的な方向)

- ・資金確保、ノウハウの習得、情報提供など起業に対するハードルを下げるための環境づくりを推進。
- ・事業の継続率を上げるための仕組みづくりの構築。
- ・事業の飛躍的な成長を促すための支援制度を実施するほか、他の機関等との連携を推進。
- ・部分的な支援ではなく、創業の検討前から創業後までを満遍なく支援できる仕組みづくりの構築。

具体的な取組み

(現在行っているもの)

- ・創業検討者から創業初期の方までを対象とした、創業セミナー
- ・創業検討者から創業初期の方までを対象とした、中小企業診断士による無料経営相談
- ・初めて創業を行う方を対象にした、低利子で利用しやすい融資制度
- ・創業者向けの制度融資に対する、利子・保証料の助成と中小企業診断士による経営サポートが一体となった制度(創業サポート総合制度)
- ・市、日本政策金融公庫、商工会議所、前橋企業支援センター、各種士業の支部が連携し、創業者のニーズにワンストップで応えるネットワークの構築
- ・中心市街地で小売店等を創業する方向への、改装費等に対する助成制度
- ・次世代育成を目的とした、子ども起業塾、工場見学、パティシエ甲子園の実施

(これから取組むもの)

- ・成長が期待できる起業家に対し、低家賃で良質なオフィス環境を提供する、インキュベーション施設の設置
- ・次世代育成のための、若者から見た労働者・企業のフォトコンテスト
- ・創業者向けの低利子融資制度の拡充
- ・創業サポート総合制度の拡充
- ・創業者同士が交流し、情報交換ができる場の創出
- ・若者(大学生・高校生)を対象にした、創業セミナー
- ・アントプレナー表彰との連携
- ・既存の創業セミナーの拡充
- ・前橋が起業場所に最適であることを市外に発信

計画終了(3ヶ年)までの目標

- ・新設事業所数の数を現状より5%増やす。(開業率に換算すると7.2%→7.6%)
 - ・3年後の廃業数を現状より20%減少させる。(廃業率に換算すると7.1%→5.7%)
- ※3年後の廃業数は、平成22年度に実施した起業家独立開業支援資金の利用者実態調査に基づくもの。